

学校を核とした地域力強化プランにおいて実施・国庫補助率1/3

※指定都市・中核市の直接実施の場合負担率各2/3 実施主体:都道府県・指定都市・中核市、負担率:都道府県、市町村各1/3

- 学校や通学路における子供の安全を確保することが必要
- 学校現場はオーバーフロー状態、教職員だけでは安全確保が困難

地域全体で取り組む体制が必要

- 家庭と地域との関係機関・団体との連携強化
- 地域のボランティアを養成・確保して活用

## スクールガード・リーダーの巡回等の強化

### スクールガード・リーダー育成講習会の充実

スクールガード・リーダーとしての資質を備えた人材を継続的に確保するため、学校安全に積極的に取り組んでいた教職員OB等を対象に育成講習会を開催。(1地域 6回開催)

### スクールガード・リーダーの委嘱

警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱し、各学校を定期的に巡回し、見守り活動のポイントや改善すべき点等の指導と評価や、スクールガードに対する指導等を行う。また、学校等の巡回指導を円滑にするため、スクールガード・リーダーの連絡協議会等を開催する。(1700箇所)

## 見守り活動を行うスクールガードの養成・支援

**各地域の子供の見守り活動の支援**  
各地域の通学路や学校で実施されている子供の見守り活動などの、防犯活動に対する支援の実施。(1700箇所)

### 【活動例】

- ・登下校時におけるパトロール・防犯訓練の実施
- ・通学安全マップ作製・防犯ブザーを児童へ貸与
- ・ICTを活用し、関係者間で情報を効果的に共有できる取組の実施

### スクールガード養成講習会の充実

通学路等で子供たちを見守るスクールガード(学校安全ボランティア)を養成するために、最新の安全に関する情報・意識啓発による質の向上などを学ぶことができる養成講習会を開催。(1地域 6回開催)

## スクールガード・リーダー

- ・見守り活動のポイントや改善すべき点等の指導・評価
- ・各学校を定期的に巡回

見守り活動のポイントを指導

## スクールガード

- ・学校、家庭、地域が連携
- ・学校内外における見守り活動

地域全体で

見守る体制

学校安全ボランティア等を安全かつ効果的に活用する仕組みを整備して、地域全体で、子供の安全を見守る体制を整備